



# 鵜鮎つうしん

岐阜ダルクニュースレター平成 28 年夏号 (56 号)

## 女性ハウスにつながる仲間達

岐阜ダルク  
施設長 遠山香



月 2 回程、笠松刑務所での薬物離脱指導に行く事で出会った前科 7 犯の女性。その女性は両手の拳をにぎりしめて膝の上に置き、真っ直ぐな目で私を見て「私もダルクに行ったら薬をやめられますか？」と尋ねてきました。徹底的にダルクのプログラムに取り組めばやめられます」と私は答えました。その時の女性の目が輝いたことを忘れもしません。

当時、女性の利用者は入寮施設がなかったため、通所でしか受け入れていませんでした。行き場を失くしたその女性を受け入れる体制がないことに危機を覚えたのが女性ハウスを作るきっかけとなり、平成 24 年に女性ハウスを設立し早いもので 4 年が過ぎました。

女性の仲間たちの大半は暴力や性被害など過去に被害体験があり、ミーティングでそれらの壮絶な体験を聞いていると、自分の体験とも重なる部分が多々あり、よくここまで生き抜いてきたねと思い切り抱きしめたい事があります。

また、摂食障害や男性依存、女性として体形のコンプレックスからくる薬物使用など女性ならではの問題に向き合っていくのに、同じような体験をしている女性のスタッフによる関わりが欠かせません。やめる気があってもそれらの問題に向き合わないことにより、薬や不健全な関係にある男性の所に戻ってしまう仲間もいました。

長年傷ついた感情に蓋をして、薬や食べ物、買い物や男性などでごまかし続けてきた生き方を見つめ直し、ありのままの自分を受け入れて自分らしく安心して生きていけるようになるまでにはとても時間がかかります。

リハビリ開始当初は、どうせ自分なんて価値のない存在だと思ったり、自己憐憫に陥る仲間が多いです。ところが、ミーティングで正直な話をして相談ができるようになっていく中で人との信頼関係を築くことを学び、ダルクが安全で安心できる場所となります。

薬物使用者や初めて刑務所に入る受刑者らが早めに出所することになる「刑の一部執行猶予制度」が平成 28 年 6 月 1 日に施行され、保護観察対象となる薬物依存者が急増する見込みがあります。

全国的にもまだ少ない女性の入寮施設の中で、岐阜ダルクも治療体制の一助となればと思っています。

## 仲間の体験談

「逮捕とはならず、平安の毎日」

なんし〜

関東地方にいた頃、「スピード」「S」という言葉を耳にして間もなく、栄養ドリンクの延長線にあるモノであるかのような説明を受けながら、左うでに水で溶かしたものを注射されました。

視界全体にうすいオレンジ色がかかった後、下段からブラインドが上に引き上がるようにクリアになると、社会法規に反するハイウェイの入口へと親の迷惑も考えず、深く物事を考える事をせずに進んで行きました。

断続的であったというものの、最終的に過激を極めたスピード違反を続けた結果、ついに「ダルク」への道が開かれました。各務原病院の保護室から解放してくれた朝の施設長の髪に寝グセが少しついていたのを思い出すとひじょうに印象的なのですが…。

入寮後は施設長の髪に寝グセをつけられるような寝具は、実際のところ相当なものであると、きっとアナタもそう思うはずです。陸上がダメなら、空を飛んで行こう。と言われ、『うん、そうしよう。』と素直に思える事ができる、そんな岐阜ダルクを今は居場所にして、長良川と岐阜のまちの力をかりて、自分の回復について考えて行きたいです。



薬物依存症のまさひろです。

まさひろ

岐阜ダルクに来て1年が経ちました。毎日仲間達と一緒にプログラムをやっています。僕は、最初運動プログラムでは、走りませんでした。走る事に何か意味があるの？とか、ダルクを出てから走る事なんかあるのかな？とか頭の中で考えて意味がないと自分で決めていました。

5カ月ぐらい走らずに歩く事をしていたら、走る事の提案をもらって、最初は、行きだけ走って帰りは歩くとかダラダラとやっていたのですが、だんだん行きも帰りも走れるようになり、走る距離もだんだんとふえていき、今年の3月には、10kmですがマラソン大会でも完走出来る様になりました。今も走る事は好きじゃないし、しんどいですが走っています。

自炊の提案をもらって、今は、みそ汁と炒め物を自分のために自分で作れるようになりました。この前は、ささみフライを作っておいしく食べました。

僕は、人と会話する事が苦手です人とコミュニケーションの取り方が分かりません。でも毎日仲間達と会話の練習をしたり、ミーティングで弱い自分の話をしたり、頭の中で何を思ったかなどを言葉にする練習をしています。正直自分の頭の中の話をするのは、はずかしいです。でも話しています。

今、僕はパソコン教室に通わせてもらっています。パソコンをさわったことがあまりなかった僕が今はニュースレターを打ったり出来る様になりました。このニュースレターの4〜5ページも仲間と一緒に作りました。

ステップハウスの机や棚をスタッフに教えてもらいながら一緒に作ったりもしています。今は物を作ることが楽しいですが、褒められなれない僕は出来た物を仲間達が「すごーい」とか褒めてくれることがすごく照れます。でもうれしいです。

まだまだ僕は、人とコミュニケーションが取れないし、自分の感情がよく分からなくて出せないこともあります。これからリハビリを通して練習をしていきます。



## Step house だより

スタッフ 山田 興久(タロー)

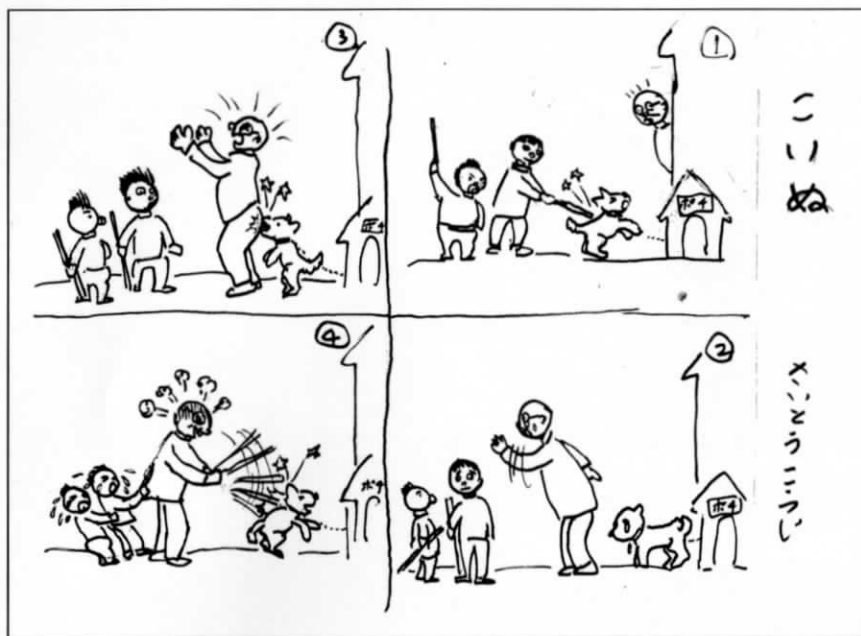
Step house がオープンして、4カ月が経とうとしています。最初は新しい環境に少し戸惑っていた仲間達も、今ではすっかり落ち着いて、明るい日差しの差し込む中でプログラムに取り組んでいます。

4月2日の開所式には、家具もきちんと揃ってなくて、前のダルクからとりあえず持ってきたテーブルに手作りの料理を並べてお祝いしました。でも今では、新しい施設にぴったりの家具が並んでいます。仲間達が図面を描きのこぎりを引いて、自分でつくったのです。ミーティングや食事に使うテーブル、靴だな、3つの収納棚など、温かさがいっぱい作品の出来栄を、皆さんに見ていただきたいです。

開所式の際に立派な胡蝶蘭を送ってくださった大家さんには、とても優しくしていただいています。先日の雨の日、外に置いておいた自転車が2階のStep house の窓から見当たらず、僕は本当にあせりました。急いで階段を駆け下りて見回すと、シャッターが開いた大家さんのガレージの中に自転車が。濡れてはいけなさと大家さんが入れておいてくださったのです。また、毎朝掃除をする仲間達に、「本当にきれいにしてくれてありがとう」と声をかけてくださり、仲間達のやる気も倍増！です。

掃除と言えば、毎朝施設の前も掃き歩道に生えてくる雑草を抜いています。すると、通り過ぎる人たちから「いつもお疲れさま」と温かい言葉をいただくことも、しばしばあります。今は地域の一員として暮らしていると喜べる瞬間です。

最近は強い日差しが厳しさ・暑さを増すようになっていますが、それも夏の間だけのひと時のことです。Step house の明るさと温かさが、仲間達のこれからを象徴しているように感じます。仲間達の回復を、これからも支えてください！よろしく願いいたします。



(漫画 岐阜ダルク後援会 会長 斎藤幸二)

# 活動報告



- 9 薬物電話相談日
- 10 インマズエル岐阜キリスト教会にて活動紹介、岐阜ダルク家族会
- 12 依存症対策推進事業説明会
- 13 笠松刑務所薬物離脱指導、薬物電話相談日
- 14 ヨーガ
- 15 各務原ライオンズクラブ講話
- 16 羽田人権文化基金『身近な人権を語る会』参加、薬物電話相談日
- 18 一宮警察署面会
- 19 レクリエーション (金華山登山)
- 21 ルーテル岐阜教会 BBQ、ダルク後援会会議
- 23 フラワーセラピー、薬物電話相談日
- 24 岐阜ダルク家族会
- 26 笠松刑務所講演 28 ヨーガ

あつい日がつづくわん。  
ステップです。  
ばてばてだわん。



## 5/15 山県めぐみバプテスト教会にて活動紹介



ダルクの活動内容の紹介と依存症の体験談を教会で話させてもらっています。この日は、こちらの教会で話をさせていただきました。後日教会の方々がステップハウスに見学に来て下さいました。



- 3 各務原病院メッセージ
- 4 三河ダルクフォーラム参加、薬物電話相談日、北九州ステップセミナー参加(-5日)
- 6 ルーテル岐阜教会草むしり、ダルク後援会会議
- 8 日本福祉大学にて講話、薬物電話相談日
- 9 山県めぐみバプテスト教会牧師様ご夫妻始めダルク見学受け入れ、ヨーガ
- 11 薬物電話相談日
- 12 岐阜キリスト教会岐阜チャペルにて活動紹介、寄付金贈呈式、岐阜ダルク家族会
- 13 稲沢警察署面会
- 15 笠松刑務所薬物離脱指導
- 17 各務原病院メッセージ
- 18 フラワーセラピー、薬物電話相談日
- 19 北方キリスト教会にて活動紹介
- 25 薬物電話相談日
- 26 名古屋聖マタイ教会にて活動紹介、岐阜ダルク家族会
- 27 岐阜ダルク理事会・総会
- 29 笠松刑務所薬物離脱指導
- 30 ヨーガ

## 6/6 ルーテル岐阜教会草むしり



とても暑いけど、  
牧師夫人の手作り  
ごはんを楽しみに  
がんばりました。

## 7/6 西知多保護区保護司会大府支部見学受け入れ



薬物依存症の事を知りたい、  
理解したいという事で施設の見学に  
みえました。ミーティングに参加して  
いただきました。分かち合いをしました。

ダルクでは、  
レクリエーションに行くためにお金もコツコツ  
貯めています。今回は、そのお金で、新舞子マリ  
ンパークに行きました。  
BBQやビンゴゲームや海でフェローシップ。



- 1 各務原病院メッセージ
- 2 レクリエーション (NA BBQ参加)、薬物電話相談日
- 3 大垣サンライズチャペルにて活動紹介 AA オープン・ステップセミナー参加
- 6 西知多保護区保護司会大府支部ダルク見学受け入れ
- 7 岐阜県立斐太高校講演
- 8 各務原病院メッセージ
- 9 薬物電話相談日 10 岐阜ダルク家族会
- 13 薬物電話相談日 14 ヨーガ
- 15 各務原病院メッセージ
- 16 薬物電話相談日
- 17 名古屋ステパノ教会にて活動紹介
- 18 ダルク後援会
- 20 笠松刑務所薬物離脱指導
- 21 岐阜県精神保健福祉センター家族教室
- 23 フラワーセラピー、薬物電話相談日
- 24 岐阜キリスト教会瑞穂チャペルにて活動紹介、岐阜ダルク家族会
- 26 笠松刑務所薬物離脱指導
- 27 ニュースレター発送作業

(6/12)  
毎日新聞の岐阜県内の販売店で作る岐阜県毎日  
会様より寄付金を頂きました。  
ありがとうございました。



写真…毎日新聞社提供

近所にある、クラーク高校の生徒さんです。  
毎週金曜日に、授業の一環で、ボランティア活動に、  
みえます。コミュニケーションの練習です。



## 木工作業



今、手作りの家具が  
ステップハウスにどん  
どんふえています。



社会を明るくする運動の  
マスコットの更生ペンギン  
ホゴちゃんです。

## 7/7 岐阜県立斐太高校講演



高校生に自分の経験を話せて良かった。  
高校生に薬物依存症は病気ですということを  
これからも伝えていきたいです。

全校生徒836人！「崩壊」という  
テーマで話してきました。

## 7/2 NA パーベキュー&海 (新舞子)



- 2 中高生ボランティア受け入れ
- 6 NA花火フェローシップ参加、薬物電話相談日
- 13 薬物電話相談日
- 14 岐阜ダルク家族会
- 20 薬物電話相談日 25 ヨーガ
- 27 薬物電話相談日
- 28 岐阜ダルク家族会



- 1-4 NA 北海道コンベンション参加
- 3 薬物電話相談日 8 ヨーガ
- 10 薬物電話相談日
- 11 岐阜ダルク家族会 14 薬物電話相談日 17 薬物電話相談日
- 24 薬物電話相談日
- 25 岐阜ダルク家族会 29 ヨーガ

## 活動予定

平成27年度の財務状況(特定非営利活動に係る事業会計活動計算書)

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1 受取会費・入会金		
正会員受取会費	27,000	
入会金	0	27,000
2 受取寄付金		
後援会寄付金	7,800,000	
一般寄付金	3,262,799	
募金	1,002,339	12,065,138
3 受取助成金		
地方公共団体	347,586	
民間	1,460,000	1,807,586
4 事業収益		
① 薬物依存症者のリハビリテーション施設の設置運営	5,297,525	
② 薬物依存症者等の相談及び生活支援事業	4,479,793	
③ 薬物依存に関する教育、講演会、研修会、セミナー、イベント等の企画運営と啓発事業	911,947	
④ 薬物依存症者の福祉に資する広報事業	56,531	
⑤ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業	0	10,745,796
5 その他収益		
受取利息	196	
雑収益	341,078	341,274
経常収益計		24,986,794
<b>II 経常費用</b>		
1 事業費		
(1) 人件費		
給与手当	4,974,134	
アルバイト料	249,600	
通勤費	213,200	
法定福利費	399,841	
人件費計	5,836,775	
(2) その他経費		
印刷製本費	308,630	
活動費	13,514	
会議費	10,830	
旅費交通費	565,852	
車両費	222,713	
通信費	193,334	
消耗品費	372,570	
修繕費	28,240	
水道光熱費	587,466	
地代家賃	1,416,000	
生活費	4,479,793	
プログラム費	118,300	
保険料	311,376	
研修費	353,940	
器具什器費	28,671	
減価償却費	706,316	
雑費	168,915	
その他経費計	9,886,460	
事業費計		15,723,235

2 管理費			
(1) 人件費			
給与手当	1,800,666		
通勤費	51,600		
法定福利費	199,920		
人件費計	2,052,186		
(2) その他経費			
委託料	162,000		
通信費	49,212		
消耗品費	16,917		
修繕費	10,388		
水道光熱費	129,169		
地代家賃	360,000		
租税公課	3,750		
減価償却費	23,088		
諸会費	12,000		
雑費	4,400		
その他経費計	770,924		
管理費計		2,823,110	
経常費用計			18,546,345
当期正味財産増加額			6,440,449
前期繰越正味財産額			1,702,896
次期繰越正味財産額			8,143,345

※ 平成27年度の岐阜ダルクの財務状況を表す活動計算書は、上の通りとなりました。平成28年度に繰り越した岐阜ダルクの財産は昨年度より640万円余増えましたが、これは次のように皆様からいただいたご支援の賜物です。

①車両2台 289万円。日本財団からご支援いただいている方からと、2台の車両を導入できました。なお、日本財団からいただいた車両に対する自己負担金についても、皆様からの寄付で賄うことができました。

②新しいデイケア施設「Step house」の運転資金 200万円。Step houseをスタートするのにあたって受けた岐阜市の指導で準備が必要となった当面の運転資金ですが、これも皆様からの寄付で準備できました。

○この他、Step houseの開業に向けて、施設や必要な設備・備品を整備するのに必要な資金を、皆様からの寄付金で準備することができました。本当にありがとうございます。

※こうしたことで昨年度末の時点での岐阜ダルクの財産は大きなものとなりましたが、日々の運営に必要な資金は、この車両等の財産とは別のことでまだ十分とは言えません。しかし、7月からは制度を利用した仲間の人数に応じて市からのお金が入るようになりますから、今までと比べて少しは安定した運営ができるようになるかと期待しています。今後も岐阜ダルクの財務状況についてはお知らせしてまいります。仲間たちができるだけ早く社会に戻れるよう支援すると言う施設の性格から、皆様のご支援をお願いさせていただくことには変わりはないかもしれませんので、今後ともよろしくお願いいたします。

自立訓練(生活訓練)事業所 Step house



岐阜市の指定を受けて、4月にオープンしました。現在は、日中のプログラムは Step house で行っています。

所在地：岐阜市真砂町11-12 不破ビル2階

電話番号：080-3668-6922

ミーティングのために、朝から11時半頃までは電話に出られません。それから夕方までは何かありましたらこちらにご連絡下さい。



## ご支援・ご協力をいただき心から御礼申し上げます

### 献金者名 (3月1日～6月30日) (敬称略)

インマヌエル岐阜キリスト教会の皆様 大垣キリスト教会の皆様 カトリック多治見教会の皆様 岐阜  
バプテスト教会の皆様 一ノ宮聖光教会の皆様 中濃教会の皆様 揖斐キリスト教会の皆様 ハルピア  
音楽会 清水啓子 稲葉和子 鳥居与記 同盟福音大垣キリスト教会の皆様 山田慶子 山県めぐみバ  
プテスト教会 田口大輔 池田時造 永嶋恵美 亀田公子 カトリック名古屋教区社会福祉委員会 カ  
トリック小牧教会 カトリック高蔵寺教会 幼き聖マリア修道会 カトリック江南教会 カトリック五  
反城教会 吉田和郎 木下容子 伊藤直美 光楽英生 弁護士・伊藤知恵子 弁護士・山本亮 北谷雅  
春 みのかも法律事務所 羽村真知子 若岡ます美 堀尾佳広 中島奈代 市岡多賀賜 中堀義広 津  
山昇 永幡富久代 伊藤久枝 福安一幸 弁護士・神谷慎一 長井敬子 河合潔 浦田益之 樋口明美  
田代幸生 今井扶美子 森幹雄 中道美保子 中山久司 藤本真輝 清水宗夫 小田泉 山科正太郎  
豊田聖ペテロ聖パウロ教会 青井初恵 高橋直子 宮原節子 勇昭代 伊藤久美子 伊藤潤子 今井田  
和子 阿部賢彦 岐阜キリスト教会 蜂谷文雄 山県地区更生保護女性会・代表・大橋俊子 中西東峰  
福島春美 ライザ 安田好良 小川哲秀 吉田加代子 山田均 梅沢雪子 岐阜県毎日会 養清興業株  
式会社 弁護士・平井治彦 家田重晴 鎌田憲子 もとす広域保護区保護司会 上田千津子 新村しを  
り 名古屋聖マタイ教会の皆様 匿名者多数

### 献品者名 (敬称略)

一ノ宮聖光教会の皆様 中濃教会の方 深津伸夫 木下容子 岡本敏孝 小西和子 戸山美香 岐阜キ  
リスト教会

※お名前の記載につきましては注意を払っておりますが、万が一お名前の誤字・脱字または記載漏れなどござ  
いましたら、誠に申し訳ありませんが、ダルクまでご連絡をいただけますようお願い申し上げます。

※発送作業簡略化のため皆様全員に振込用紙を同封させていただいておりますことをご了承下さい。また匿名  
希望の方は、恐れいりますが、その旨を振り込み用紙通信欄にその都度ご記入下さいますようお願い致します。  
※就労支援のため、Word、Excelの操作を指導して下さるボランティアの方を募集しています。どうかお力  
添えください。

※岐阜ダルクでは岐阜ダルク及び女性ハウスの2施設の地代家賃、水道光熱費、専任スタッフのPersonnel費等、毎  
月一定の固定費がかかる一方、「中間施設」の性格上、きわめて財務基盤が不安定で、皆様方のご寄付が欠か  
せません。引き続きご理解とお力添えをお願い申し上げます。

### ※岐阜ダルク 郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

・バザーや地域のフリーマーケットへの参加を定期的に行っていきます。

ご家庭で眠っている新品のタオルや家庭用品や衣類などがありましたら献品のご協力をお願い申し上げます。  
たくさんありましたらダルクから近郊の方でしたら取りに伺わせていただきますのでご連絡下さい。(058 -  
251 - 6922)

編集 特定非営利活動法人 岐阜ダルク  
編集担当 岐阜ダルク後援会 齋藤幸二 鈴木輝一郎  
〒500-8175 岐阜市長住町7-3 TEL/FAX: 058-251-6922  
Email: gifudarc2004@yahoo. co. jp  
ホームページ: <http://gifu-darc.sakura.ne.jp/>  
ダルク日記『今日もぐるぐる』: <http://darcblog.sblo.jp/>  
2016年 岐阜ダルクニュースレター平成28年夏号 (No.56)  
定価 1部 200円  
編集責任者 遠山 香  
発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会  
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター